

発掘と修理で歴史を守る！！

公益財団法人 和歌山県文化財センターのお仕事



2026/7/18 談話会

(公財)和歌山県文化財センター 埋蔵文化財課 濱崎範子

(公財)和歌山県文化財センターって？

和歌山県にある「文化財」を調べたり、修理したり、研究したり、それを公開して「文化財」のことを大勢の人にたくさん知ってもらうための公益財団法人です！

【仕事の内容】

- (1) **埋蔵文化財等**の発掘、調査等に関する事業
- (2) **文化財建造物等**の保存、修理等に関する事業
- (3) 文化財等の保護に係る普及、啓発に関する事業
- (4) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業



センターHP

【お仕事その1】

埋蔵文化財等の発掘、調査等に関する事業

埋蔵文化財包蔵地（遺跡）で大きな工事などを行う際、地下にある昔の人々の生活の痕跡が破壊されてしまう、または破壊される恐れがある場合、発掘調査などを行って、遺跡の情報を未来へ残していきます。



発掘調査のながれ

1. 重機による掘削

遺構や遺物は、地表からかなり深い部分に存在する場合があります。地下の埋蔵文化財に影響がないと判断される部分までは、重機を使って土砂を掘削していきます。



重機掘削

2. 人による掘削

重機によってある程度の深さまで掘った後、地下に存在する遺構や遺物を壊さないように細心の注意を払いながら人の手で掘り下げていきます。



人力掘削

発掘調査のながれ

白線の内側が遺構(竪穴建物跡)



3. 遺構の検出・発掘

昔の人々が生活していた地面(遺構面)まで掘り進めていき、人々の生活の痕跡(遺構)がないか確認していきます。遺構が見つかったら、その遺構にどんな遺物(昔の人々が使った土器や木器など)が含まれているのかなどに注意しながら慎重に調査していきます。

4. 遺跡を記録する

遺構が見つかり、どんな土が堆積しているのか、どんな構造をしているのかを確認したら、次はそれを記録していきます。記録の方法はさまざまですが、一番多いのは「実測図」と「写真」です。



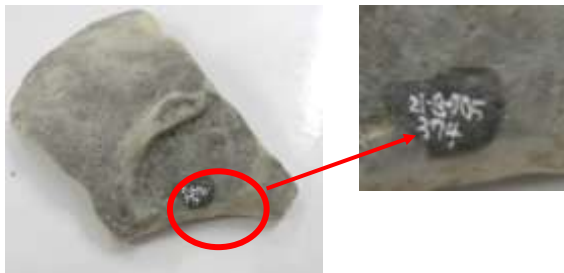
検出した中世の土壇墓と現地の記録

整理作業のながれ



①水洗作業

出土した遺物を一点一点手作業で洗います。



②注記

洗って乾いた遺物に、いつ、どの遺跡の調査で出土したものが手書きで記載します。



③接合・復元

出土した遺物はほとんどが壊れた破片です。近い場所から出土したものを中心に、元の形になるものがあれば接着剤などを使ってくっつけます。

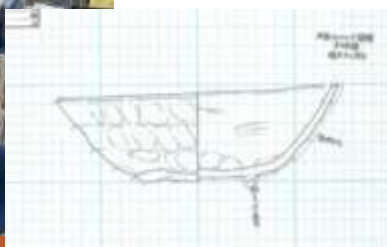
整理作業のながれ



④パソコンを使った作業
現地で記録した図面や
写真をパソコンで読み
込んで清書していきます。



⑤写真撮影
報告書に掲載する遺物の写真を
撮影します。
ライトをあてて、遺物の形や文様、
特徴が分かるように撮影してい
きます。



⑥実測
復元した遺物を手作業で実測して正確な
図を作ります。
遺物の特徴や産地などの情報も書き込
んでいきます。

整理作業のながれ

⑦完成した報告書

各都道府県や県内の教育委員会、図書館などで皆さんが
自由に閲覧できるように発送します。

最近ではセンターのHPや奈良文化財研究所の全国文化財
総覧

(URL: <https://sitereports.nabunken.go.jp/ja>)などで報告書
のPDFを自由に閲覧・ダウンロードすることができます。



全国文化財総覧

【お仕事その2】

文化財建造物等の保存、修理等に関する事業

寺院や神社、民家など文化財建造物の修理に伴い、建物の歴史や特徴、改変の痕跡などを調査して記録を作成します。そのことを通して、それぞれの固有の価値を見定め、必要な復原や耐震補強の計画、工事の技術的な指導などを行うことで、歴史的建物を未来へと受け継いでいきます。



文化財建造物保存修理事業のながれ

①修理前～修理の準備

修理前の建物の状態を丁寧に調査して、修理が必要な範囲や、その内容を十分に把握します。また、修理前の状態を記録するために写真を撮影したり、図面を作成します。そして修理中の建物や分解した部材を保護し、計画的に修理工事が進められるよう、素屋根を仮設して建物全体を囲います。



修理前



素屋根の仮設

重要文化財 三郷八幡神社本殿(海南市)

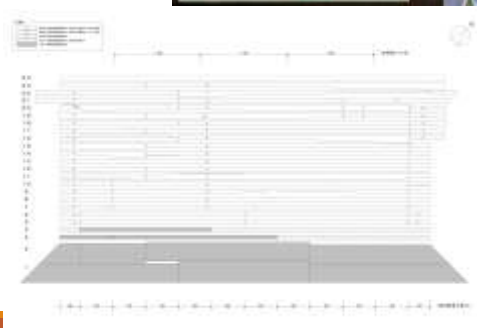
文化財建造物保存修理事業のながれ

②分解工事

修理が必要な箇所を、建物が建てられた時と逆の工程で順番に分解します。調査や記録を行いながら慎重に作業を進めていきます。

③痕跡調査

建物の修理時には、普段確認することが出来ない古い仕事の痕跡を調査することが出来ます。落ちた塗装も、風食差や微かに残る顔料から復原出来ることもあります。



塗装の痕跡調査

檜皮屋根の分解と
屋根下地の調査

文化財建造物保存修理事業のながれ

④修理工事～竣工

破損してしまった部材なども可能な限り元の部材を活かし、新しい材料に取り替える部分は、元と同じ材料、工法を用いて正確に補修します。修理技術者が厳密な調査に基づいて必要な工事方針を計画し、伝統的な技術を持った様々な職人に適切な指示を行うことにより、本来の姿へ正確に復する形での修理工事が完成します。



調査成果に基づいた塗装工事



竣工

どうしたらこの職業に??



●埋蔵文化財に関わる

→大学または大学院等において考古学(歴史学)を専攻し、卒業することを条件にしている場合が多い。

●文化財建造物に関わる

→専門学校や大学で建築学を学び、設計や修理の場で経験を積む。

※宮大工など職人の場合

→専門学校や大学で学んだり、工務店などで実践的经验を積む。

最後に

文化財に関係する職業は多岐にわたり、本当に多くの人々が関わっており、関わり方も様々です。今回お話した内容は、文化財に関わる仕事のごく一部です。

今、私達がたくさんの文化財を目にすることができるようなのは、これまで大勢の人々によって文化財を伝え、残す努力があったからです。そして、私達も次の世代へ文化財を伝える仕事に誇りをもって取り組んでいます。



大芝遺跡発掘調査時の
中津小学校児童の見学風景